

どうぶつクイズのヒント

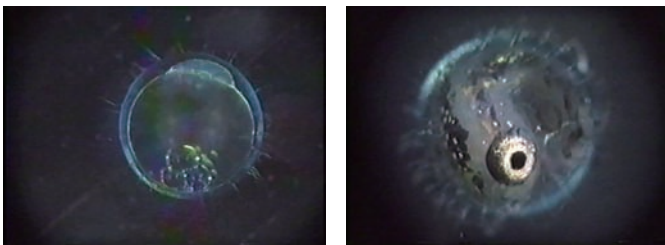
Q1 日本産メダカは、北海道をのぞく日本全域に分布しますが、地域ごとに遺伝的な違いがあります。

Q2 メダカは、春になって水温が上がり、日照時間が長くなると繁殖を始めます。

Q3 ほぼ毎日、早朝 4~5 時ごろに産卵します。

Q4 約 1mm の大きさの卵を産みます。

Q5 卵の表面には細かな毛が生えており、水草などに絡みついて、流されないようになっています。



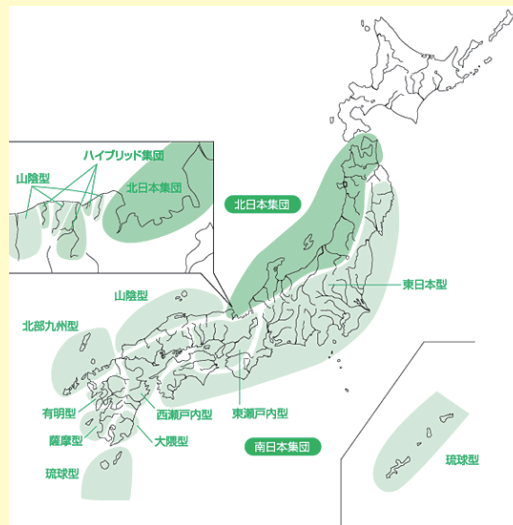
環境省レッドリストのランク

VU(絶滅危惧Ⅱ類)



分布・生息地

北海道をのぞく日本全域。平地の池や湖、水田とその周りの用水路などの、比較的流れのゆるい場所。



「日本産メダカの地域個体群と分布：酒泉満（1997）」より

動物観察の注意点

- 音や動作などで動物を驚かせないように観察する。(気づかれないのが一番)
- 他の見学者に迷惑をかけないように観察する。
- 動物に手など出さないよう、安全に注意して観察する。
- 立ち入り禁止の場所・区域には入らないこと。
- 双眼鏡などで拡大して見ると良い。(太陽は見ないこと)
- スケッチや写真を残すと良い。(特徴をとらえたスケッチが一番)

なまえ

セルフガイド & クイズラリー



ニホンメダカ

Oryzias latipes

北園エリアに展示しています



ニホンメダカを知る

体

体長約 4cm。野生型は、こげ茶色がかった灰色。突然変異型では体表の黒・黄・白・虹色の 4 種類の色素包があり、その組み合わせによって様々な色調を示す。オスのほうがひれが大きく、背びれに切れ込みがある。

習性

水の流れに逆らって泳ぐ。流速が毎秒 30cm 以上になると流されてしまう。

繁殖

水温が上がり、日照時間が長くなる春から夏ごろの早朝、水草などに卵を産み付ける。寿命は 1~2 年だが、人工的な飼育下では 3~4 年生きるとされている。

絶滅危惧種指定

1992 年から環境省レッドリストに掲載され、絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。絶滅を危惧するという発表は、日本からメダカが絶滅するというより、メダカには水系ごとの遺伝的違いがあり、その遺伝的に多様な地域個体群の絶滅の進行が危惧されたからである。

減少の原因

農薬の使用や生活排水などによる環境悪化があげられる。また、護岸工事や水路の整備などによる流れのゆるやかな小川の減少、繁殖力の強いカダヤシとの競合に負けたことも影響している。

かんさつノート

東山動植物園の動物に注目してみよう！

(※看板やボードで個体の紹介をしていることもあるよ)

- ・体の色は？
- ・体の特徴は？
- ・何をしていることが多い？

全体をスケッチしてみよう！



気づいたことを書いてね！

観察日： 年 月 日

ど う ぶ つ ク イ ズ

Q1 日本産メダカが分布していない地域は？

- ① 北海道
- ② 本州・四国・九州
- ③ 沖縄

Q2 メダカの繁殖期はいつごろ？

- ① 1年中
- ② 春から夏にかけて
- ③ 秋から冬にかけて

Q3 メダカは日中のいつごろ産卵する？

- ① 早朝
- ② 昼間
- ③ 真夜中

Q4 メダカの卵の大きさはどれくらい？

- ① 0.2mm
- ② 1mm
- ③ 5mm

Q5 メダカの卵の表面はどうなっている？

- ① ツルツルで滑らかになっている
- ② ザラザラでこぼこになっている
- ③ 細かい毛が生えている

A1	A2	A3	A4	A5
----	----	----	----	----